



# こんにちは 東郷まさあきです

**日本共産党**

ご意見・ご要望をお寄せください  
野洲市比江864 (☎589-4158)  
2018年12月23日 No.120



沖縄-辺野古

土砂搬入強行

## 民主主義破壊の暴挙 許される訳がありません

安倍政権は14日、米軍新基地建設で名護市辺野古の土砂投入を強行しました。土砂投入は沖縄の民意を踏みにじるだけでなく、法事国家ではあり得ない、違法に違法を重ねた暴挙です。

9月の沖縄県知事選で新基地反対の玉城デニー氏が8万票差で圧勝。土砂投入は圧倒的な民意を切り捨てる暴挙です。しかも基地完成の見通しなどありません。

埋め立て区域にはマヨネーズ並みの超軟弱地盤があり、改良工事が必要。知事の許可が必要ですが、玉城知事は許可しないでしょう。

強行の背景には来年2月の新基地建設を問う県民投票を前に、土砂を投入すれば県民はあきらめるという思惑があります。

しかし玉城知事は「工事を強行するほど県民の怒りは燃え上がる」「決してあきらめない」と表明。全国でも土砂投入反対の世論が広がっています。

●埋め立て法的根拠ない  
沖縄県は8月、辺野古沿岸部の埋め立て承認を撤回。工事

### 野洲市定例議会終わる(21日)

11月野洲市定例市議会は去る21日終わりました。今議会には市長から23議案が提案されました。共産党市議団は、市内の工場敷地の緑地率を半分にするとする条例改正と、議員が提案した市議報酬の5万円(月額)引き上げに反対しました。一方、市長が市計画税導入のため来年の3月議会に提案することを表明しました。なお、議会報告は「市議団ニュース」でお知らせします。



### ローラーさん反対表明

暴挙に批判が高まっています。モデルのローラーさんを始め、国内外で著名人が声を上げました。

モデルのローラーさんが18日、「美しい沖縄、みんなの声が集まれば止めることができるかもしれない。ホワイトハウスにこの声を届けよう」と訴え。アメリカでは10万人を超える署名が大統領に届けられています。日本のみならず国際的世論となっています。

は止まっています。ところが、防衛省は行政不服審査法を悪用して承認撤回を執行停止にし、工事を再開しました。同法は国民の救済が目的で、国の機関に適用されないことを明記しています。辺野古埋め立てに反対は世論調査でも多数。いまからでもやめさせることはできます。力を合わせ阻止しましょう。



## 定例議会色々ありましたが、引き続き市民目線でがんばります

今年もあと少しになりましたね。いかがお過ごしでしょうか。これからインフルエンザの時期です。ご自愛ください。

さて21日終わりました定例市議会の一般質問で子ども食堂の問題を取り上げました。実は子ども食堂の県補助金が来年度から廃止されます。質問で、「補助金を廃止するな」と市長は滋賀県に主張せよ。野洲市も、もっと支援を」と求めました。しかし、市は「野洲市は他の子ども施策をしているので、子ども食堂に対する支援は特にしな」との答弁でした。

今日の社会環境の中、「子どもの居場所づくり」など、子ども食堂の果たす役割は大きいものがあります。これにこたえずして、野洲市の子どもの施策は、なんだっただらうと思えました。

今議会では議員の報酬が月額5万円引き上げられることが決まりました。これにより年間1400万円の新たな財源が必要。一方、廃止される子ども食堂の補助金は年間30万円(市内で3か所)です。なんかおかしいですよ。色々問題のある議会でしたが、引き続き、がんばります。

東郷正明